

## 自動車環境対策の取組

### あいち新世紀自動車環境戦略の目標の達成状況

#### 1 環境目標の達成状況

##### (1) 目標

2005年度までに	二酸化窒素に係る大気環境基準の達成
2010年度までに	浮遊粒子状物質に係る大気環境基準の達成
	騒音に係る環境基準の達成
	温室効果ガスの年間排出量 6%削減 (対 1990 年比)

##### (2) 実績

#### ア 二酸化窒素、浮遊粒子状物質に係る大気環境基準

2006年度の二酸化窒素、浮遊粒子状物質に係る大気環境基準の達成状況は表2のとおりである。また、自動車排出ガス測定局のうち大気環境基準非達成局は表3のとおりである。

表2 愛知県内の二酸化窒素、浮遊粒子状物質の大気環境基準の達成状況 (2006年度)

	一般測定局			自動車排出ガス測定局		
	有効測定局数	達成測定局数	達成率 (%)	有効測定局数	達成測定局数	達成率 (%)
二酸化窒素	72	72	100	27	24	89
浮遊粒子状物質	71	69	97	27	25	93

資料：愛知県環境部調べ (政令市及び中核市を含む。)

表3 愛知県内の自動車排出ガス測定局のうち大気環境基準非達成局の状況 (2006年度)

	測定局名	測定結果
二酸化窒素	元塩公園 (名古屋市南区)	0.062ppm
	岡崎市大気測定局	0.061ppm
	岡崎市第三大気測定所	0.078ppm
浮遊粒子状物質	中川保健所 (名古屋市中川区)	0.085mg/m <sup>3</sup>
	碧南市川口町	0.076mg/m <sup>3</sup>
	今橋 (豊橋市)	0.083mg/m <sup>3</sup>
	岡崎市第三大気測定所	0.097mg/m <sup>3</sup>

注：測定結果は、二酸化窒素は1日平均値の98%値、浮遊粒子状物質は1日平均値の2%除外値  
資料：各測定局設置者の測定値

#### (参考) 二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に係る環境基準

二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること (評価は1日平均値の98%値で行う。)
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること (評価は1日平均値の2%除外値で行う。ただし、0.10 mg/m <sup>3</sup> を超える日が2日以上連続しないこと。)

これまでの二酸化窒素、浮遊粒子状物質それぞれの環境基準の達成率の推移は図 1 及び図 2 のとおりである。

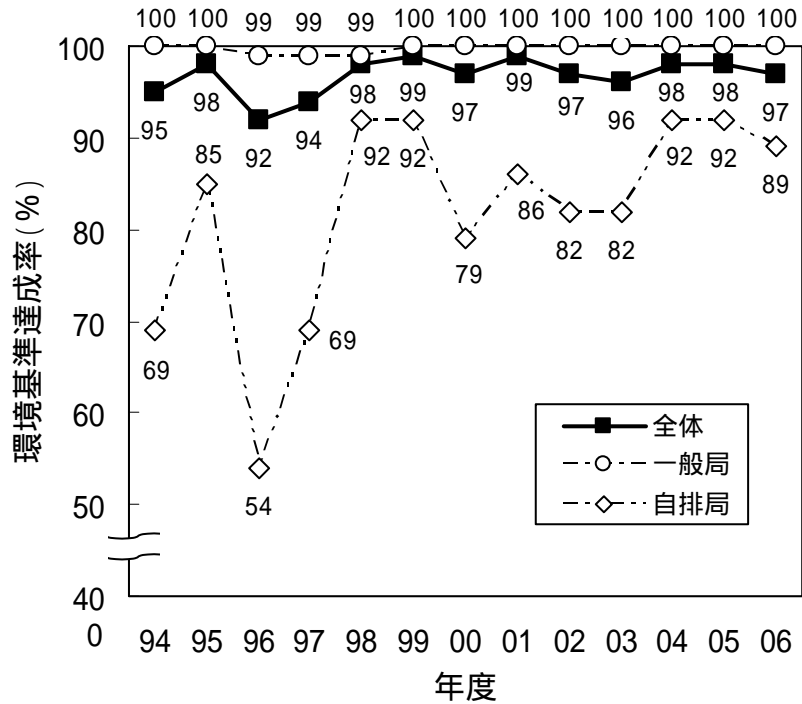


図 1 愛知県内の二酸化窒素の環境基準達成率の推移

資料：愛知県環境部調べ

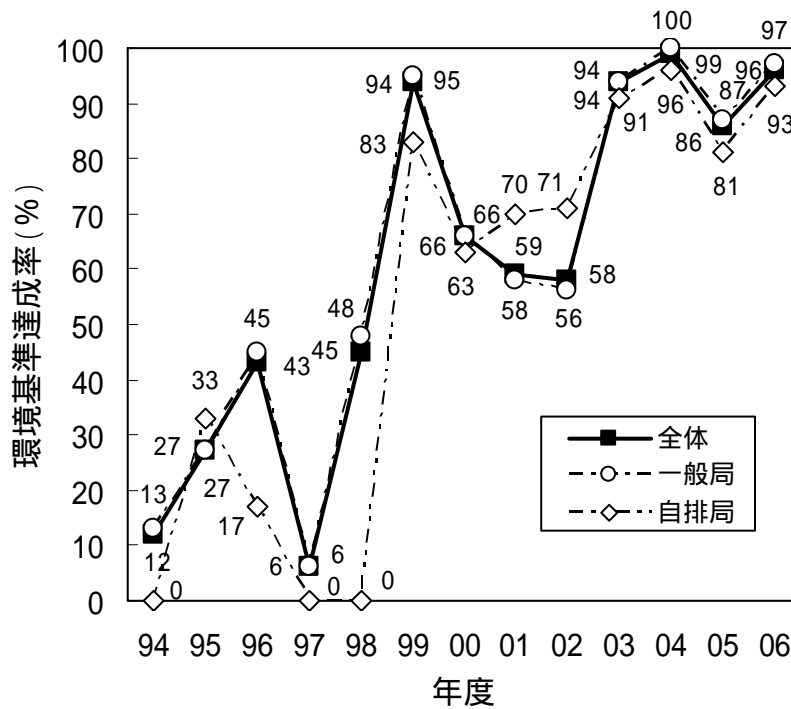


図 2 愛知県内の浮遊粒子状物質の環境基準達成率の推移

資料：愛知県環境部調べ

イ 騒音に係る環境基準

愛知県内の騒音に係る環境基準達成率の推移は図3のとおりである。

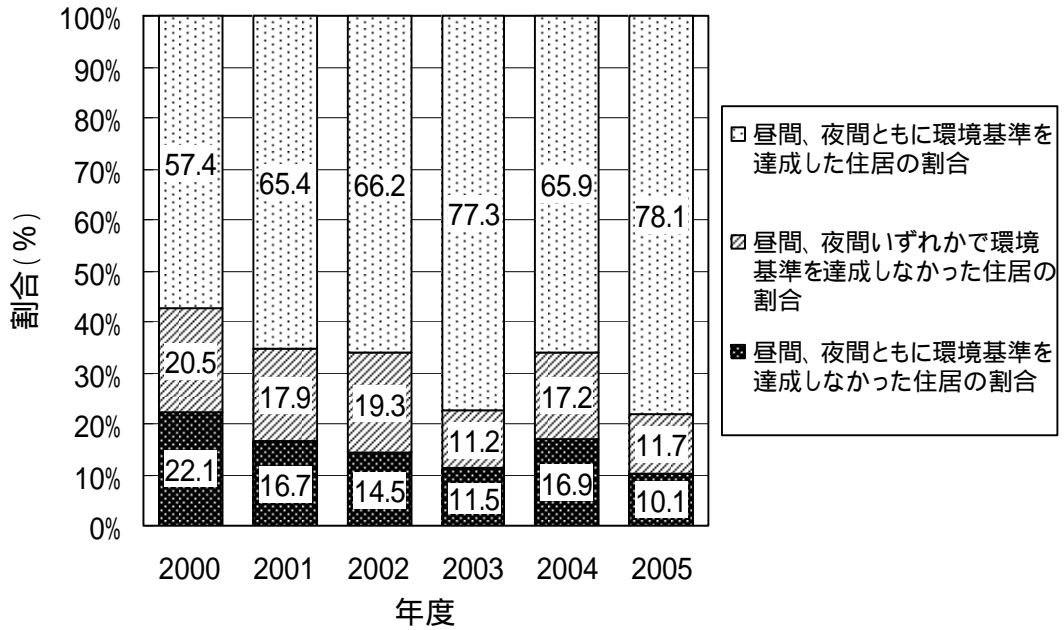
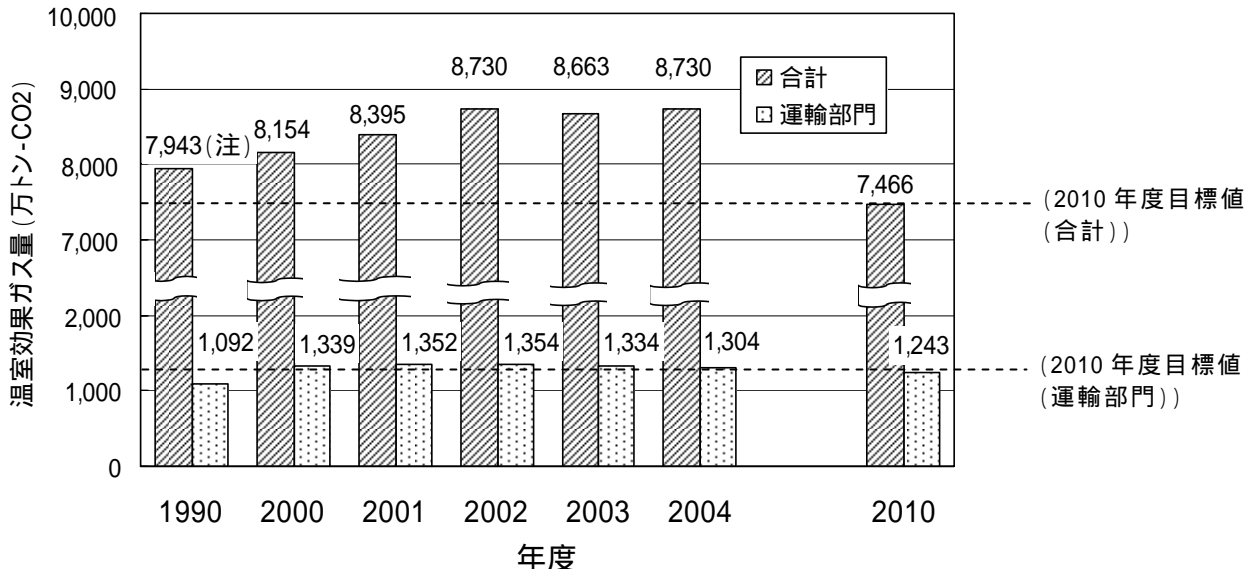


図3 愛知県内の騒音の環境基準達成率の推移

資料：愛知県環境部調べ

ウ 温室効果ガスの排出状況

愛知県内の温室効果ガスの排出状況は図4のとおりである。



(注) 基準年度レベル値(二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素は1990年、HFC、PFC、SF<sub>6</sub>は1995年の排出量の合計)

図4 愛知県内の温室効果ガスの排出状況

資料：愛知県環境部調べ

## 2 エコカー普及台数

### (1) 目標

2005年度までに エコカー100万台普及  
2010年度までに エコカー300万台普及

### (2) 実績

2006年度末までの愛知県内のエコカーの普及台数の推移は表4及び図5のとおりである。

なお、軽自動車については各県ごとのデータがないため、全国出荷台数に対する愛知県のシェアから推計した値を掲載している。

表4 愛知県内のエコカー普及台数の推移

種類/年度	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06
燃料電池車							4	4	4	10
電気自動車	140	150	184	149	140	91	78	78	68	60
メタノール自動車	4	3	2	2	2	1	1	1	1	2
天然ガス自動車	301	496	729	938	1,192	1,285	1,516	1,836	2,222	2,337
ハイブリッド自動車	462	3,107	5,001	6,506	9,378	10,923	15,158	22,924	29,970	39,391
LPG貨物車	755	874	996	1,131	1,369	1,632	1,881	2,042	1,777	2,253
かつ低燃費	(登録自動車)			1,058	10,929	114,035	292,758	505,662	720,403	910,826
	(軽自動車)			0	6,661	38,916	92,847	163,870	245,112	346,273
かつ低燃費	(登録自動車)			12,822	45,577	82,912	89,805	88,149	85,340	82,114
	(軽自動車)			5,315	37,209	71,225	100,218	117,739	130,789	139,343
かつ低燃費	(登録自動車)			37,137	119,507	186,313	213,671	220,192	217,683	210,129
	(軽自動車)			7,490	18,636	27,009	33,693	39,529	44,580	46,850
計	1,662	4,630	6,912	72,548	250,600	534,342	841,630	1,162,026	1,477,949	1,779,588

(注1)各年度末時点の台数

(注2)LPG車は貨物自動車を対象としている(タクシー等乗用車を除く。)

(注3)低排出ガスカつ低燃費車であるハイブリッド車はハイブリッド車で計上している。

(注4)低排出ガスカつ低燃費車のうち新及び新はかつ低燃費車で計上している。

(注5)軽自動車は県ごとのデータがないため、全国出荷台数に対する愛知県のシェアから推計した値である。

資料：中部運輸局及び愛知県調べ(軽自動車については(社)日本自動車工業会及び(社)全国軽自動車協会連合会のデータから愛知県が推計)

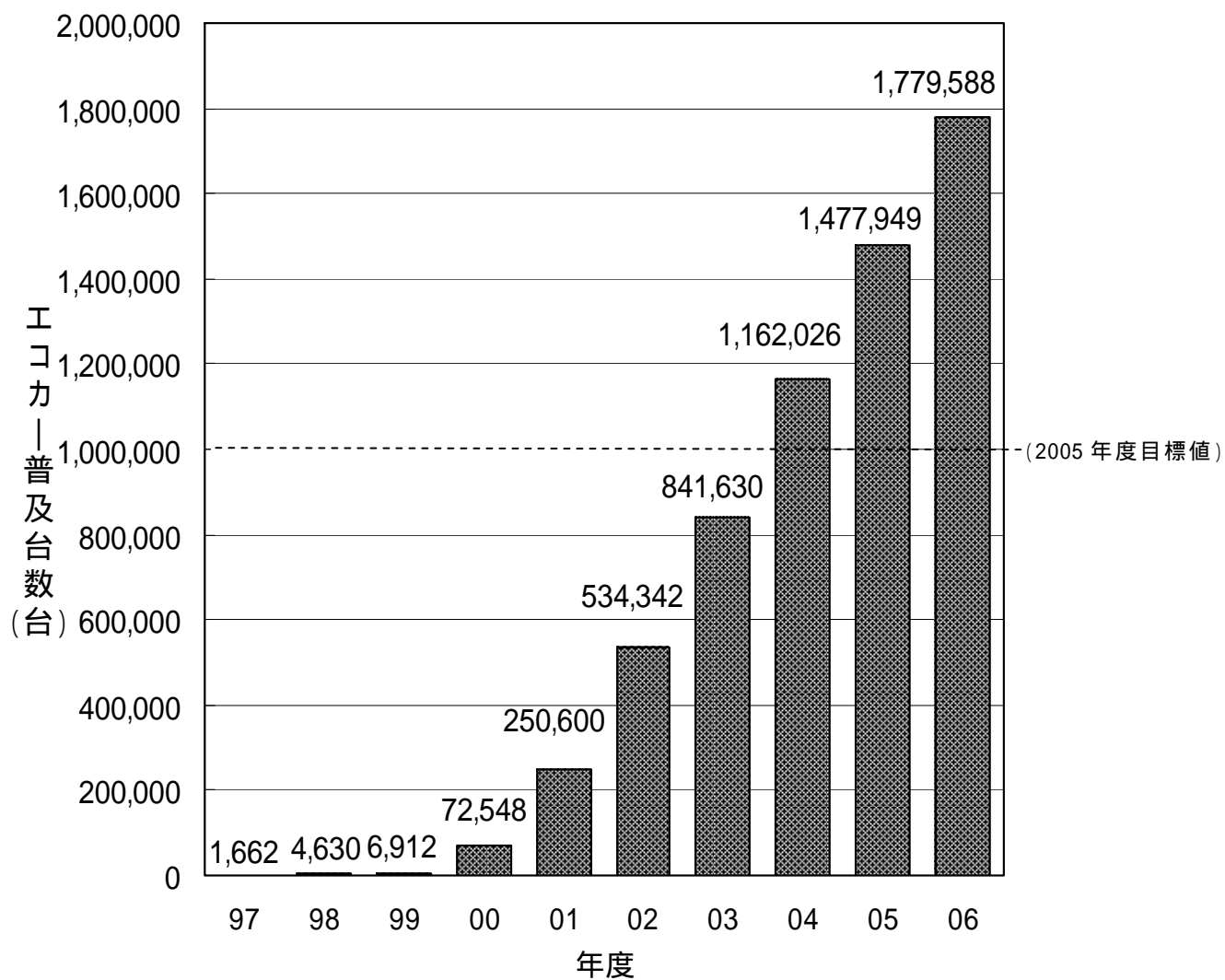


図5 愛知県内のエコカー普及台数の推移

### 3 エコ・ステーション設置数

#### (1) 目標

2005年度までに エコ・ステーション 65 基設置  
 2010年度までに エコ・ステーション 200 基設置

#### (2) 実績

愛知県内のエコ・ステーション設置数の推移は表 5 及び図 6 のとおりである。また、2007 年 3 月末現在のエコ・ステーション設置場所は図 7 のとおりである。

表 5 愛知県内のエコ・ステーション設置数の推移

年度 (注 1)	電気		天然ガス	メタノール	LPG (注 2)	計
	急速充電	普通充電				
2001	8	0	13	2	1	24
2002	5	5	17	2	1	30
2003	5	5	22	2	1	35
2004	0	5	27	1	1	34
2005	0	5	30	1	1	37
2006	0	5	31	1	1	38

(注 1) 資料の発行月が毎年異なるので、厳密に年度末時点とは言えない。

2006 年度は 2007 年 3 月末現在。

(注 2) ディーゼル代替 LPG 車への燃料供給を事業として行うものとして(財)エコ・ステーション推進協会が補助又は認定した施設であり、タクシー向けのいわゆる「オートガススタンド」は含まれない。

(注 3) 2005 年 3 月末で施設が存在しても使用できない状態のものは除外した。

資料：(財)エコ・ステーション推進協会、社団法人日本ガス協会「全国エコ・ステーションマップ」及び東邦ガス(株)「天然ガススタンド総合案内」

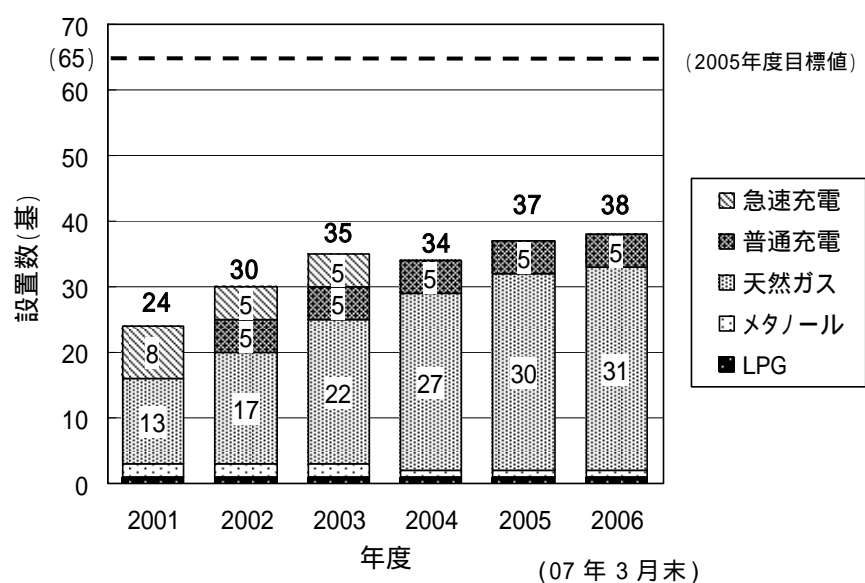


図 6 愛知県内のエコ・ステーション設置数の推移

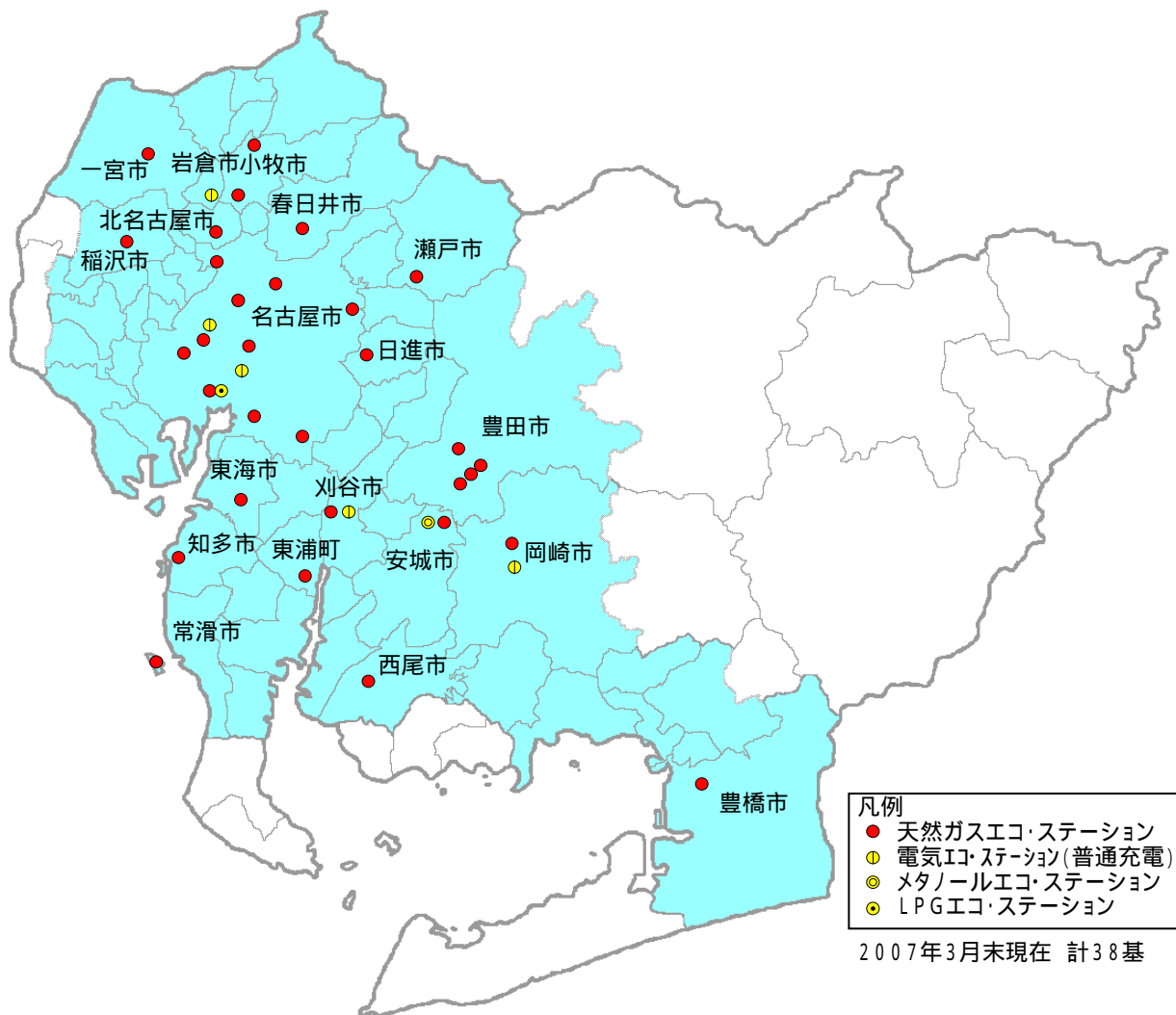


図7 愛知県内のエコ・ステーション設置場所

#### 4 PM排出量

##### (1) 目標

2010年度までの早い段階に  
ディーゼル車排出ガスの総PM排出量を半減(対2000年度比)

##### (2) 実績

愛知県内において自動車(ディーゼル車)から排出される総PM量の推移は表6及び図8のとおりである。

表6 愛知県内で自動車から排出される総PM量

年 度	PM 排出量 (t / 年)
2000 (基準年度)	3,489
2003	2,676
2004	2,249
2005	2,149
2010 (最終目標年度)	(1,744)

資料：愛知県環境部調べ

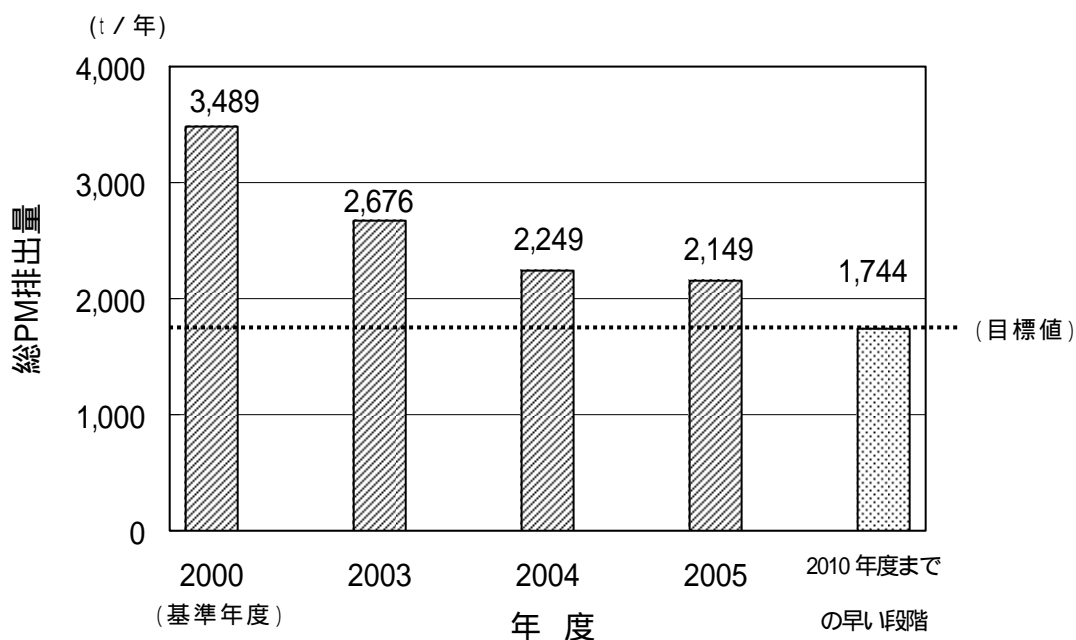


図8 愛知県内で自動車から排出される総PM量



## 5 自動車排出ガス測定局数

### (1) 目標

2005年度までに 自動車排出ガス測定局を倍増(20局以上増設)

### (2) 実績

愛知県内の自動車排出ガス測定局数の推移は表7及び図9のとおりである。また、測定局の設置場所は図10のとおりである。

表7 愛知県内の自動車排出ガス測定局数の推移

時点(各年度末)	2001	2002	2003	2004	2005	2006
測定局数	23	27	36	42	43	46

資料：愛知県環境部調べ

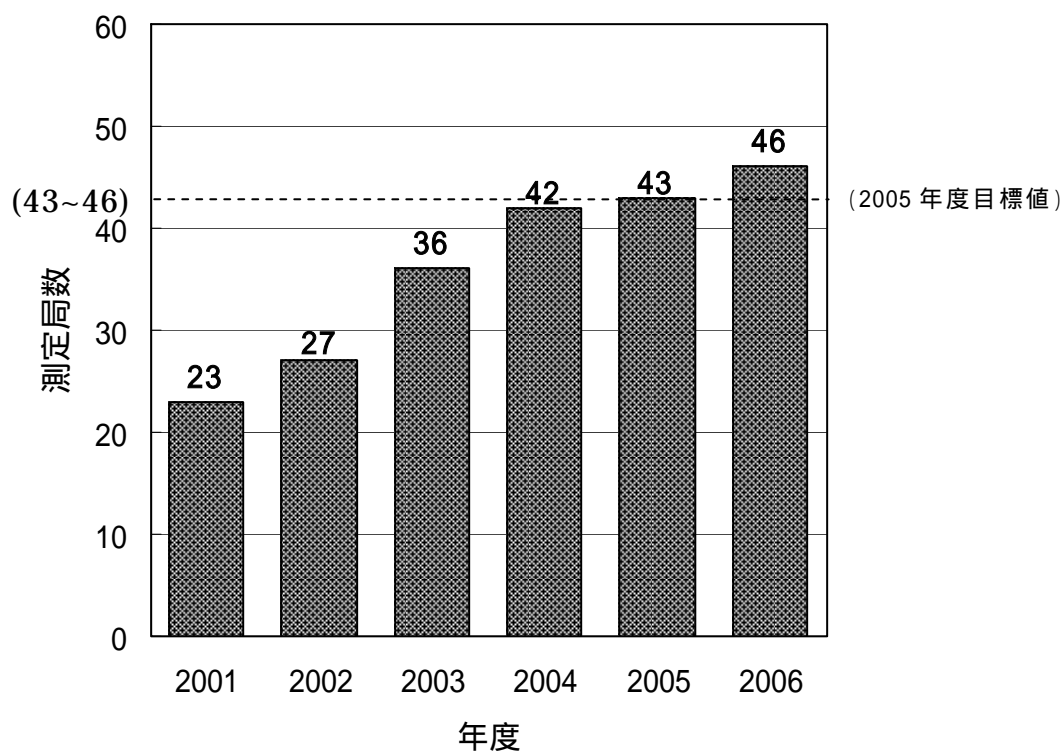
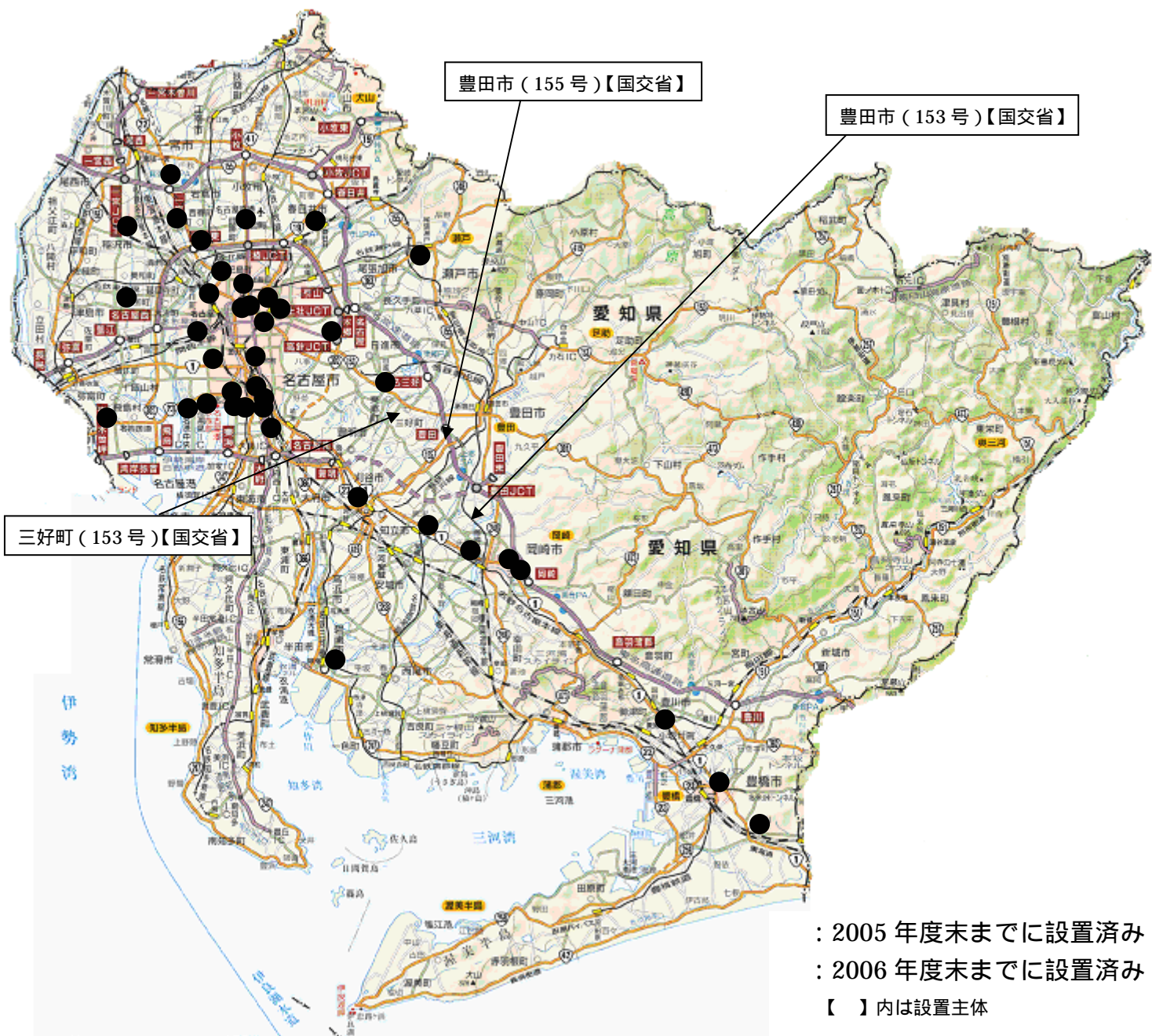


図9 愛知県内の自動車排出ガス測定局数の推移



2007年4月1日現在で計46局

図10 愛知県内の自動車排出ガス測定局の設置場所

資料：愛知県環境部調べ

## 6 エコドライブ啓発活動

### (1) 目標

2005年度までに ドライバー300万人に啓発活動を実施  
 2010年度までに 全てのドライバーに啓発活動を実施し、ドライバー  
 全員がエコドライブ実践

### (2) 実績

愛知県内において、運転免許取得・更新時にエコドライブに係る啓発活動を実施しており、その状況は表8及び図11のとおりである。

表8 運転免許取得・更新時におけるエコドライブ啓発活動実施状況

年度	2004	2005	2006	2007(注1)	計(注2)
取得者	134,402	134,392	135,413	108,378	798,414
更新者	1,112,644	1,152,820	1,040,824	770,984	5,994,604
計	1,247,046	1,287,212	1,176,237	879,362	6,793,018

(注1) 2007年は2007年9月末現在。

(注2) 合計は、2002年から2007年9月末までの累計となっている。

資料：愛知県警察本部調べ

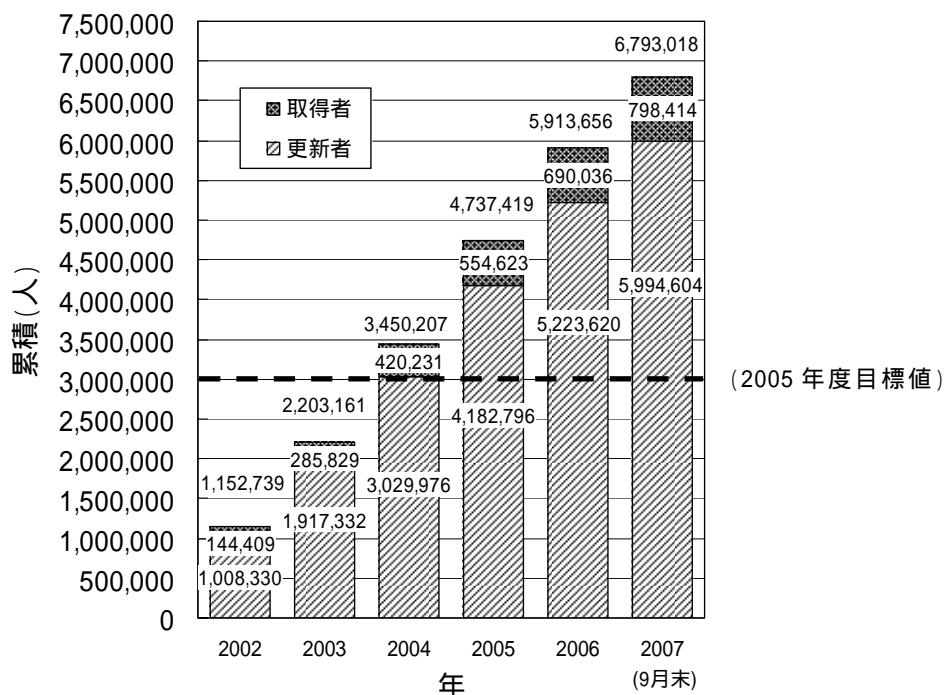


図11 運転免許取得・更新時におけるエコドライブ啓発活動実施状況

## 自動車NOx・PM総量削減計画の目標の達成状況

### 1 目標

NOx・PM総量削減計画（対策地域61市町村内） 単位：t/年

年度	1997 （現状）	2005 （中間目標）	2010 （目標年度）
自動車排出NOx量	35,046	20,978	12,459
自動車排出PM量	4,844	2,046	725

### 2 実績

NOx・PM法の対策地域61市町村内において自動車から排出されるNOx・PM総量の推移は表9、図12及び13のとおりである。

表9 対策地域内で自動車から排出されるNOx・PM総量の推移

年度	NOx排出量（t/年）	PM排出量（t/年）
1997（現状）	35,046	4,844
2003	22,264	2,519
2004	19,874	2,129
2005（中間目標）	20,978	2,046
2005	20,900	2,030
2010（目標年度）	12,459	725
2010（推計）	12,207	722

資料：愛知県環境部調べ

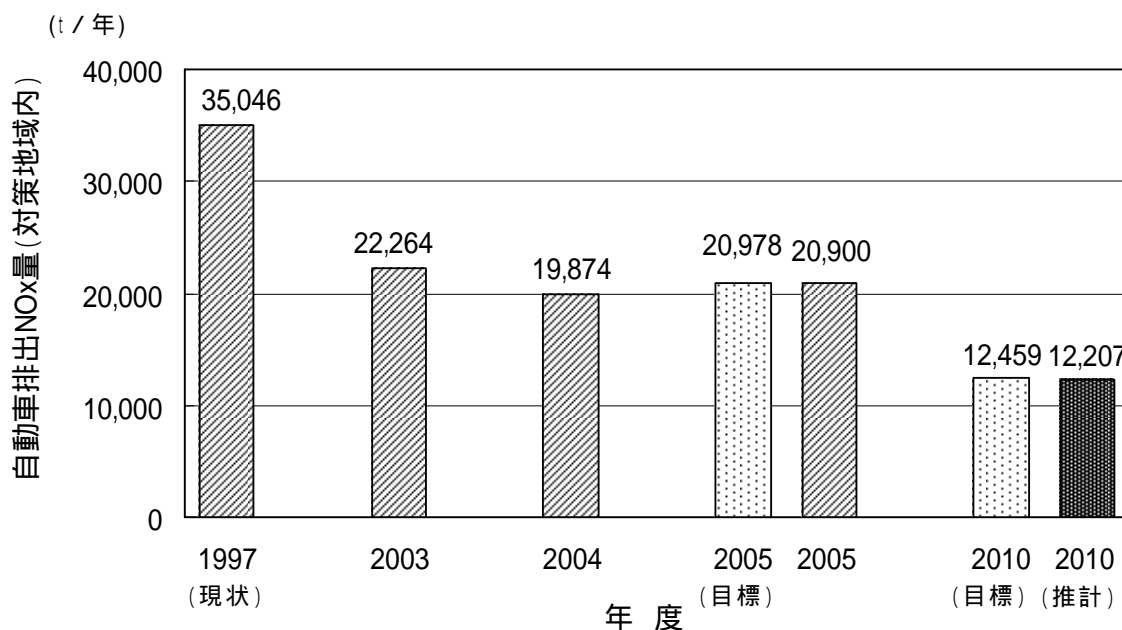


図12 対策地域内で自動車から排出される総NOx量の推移

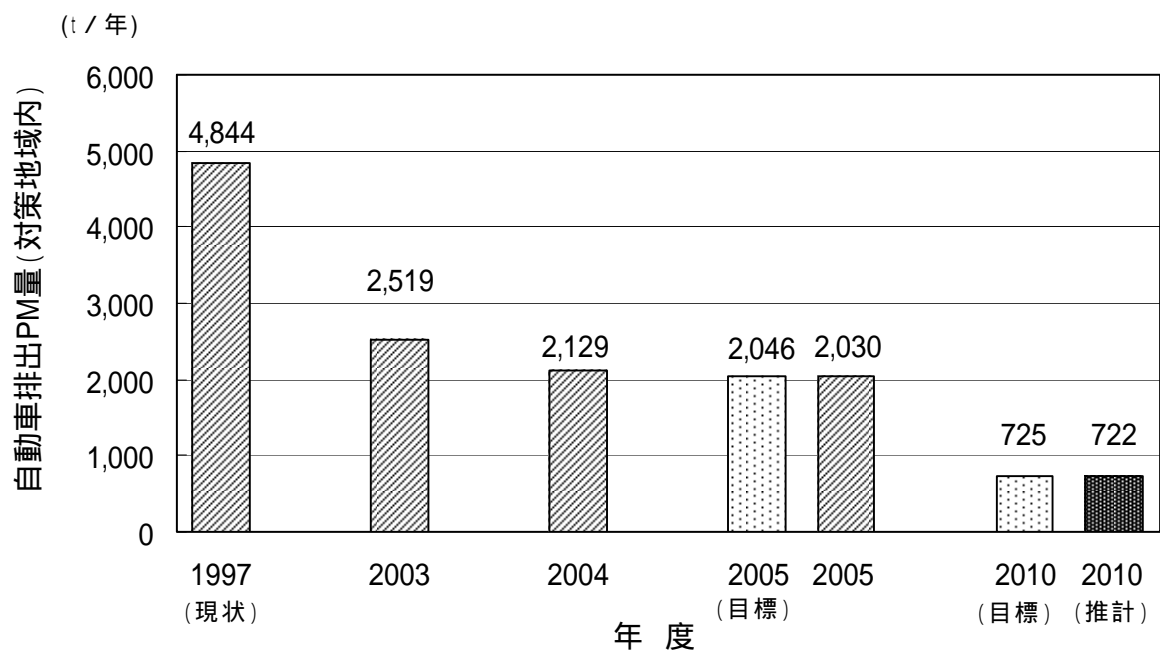


図 13 対策地域内で自動車から排出される総 PM 量の推移

## 自動車環境戦略及び総量削減計画に基づく主な取組

### エコカーの普及促

#### エコカー導入に対する助成措置

- ・トラック・バス購入等に対する補助：(18年度末までの累計) 1,945台
- ・低公害車の購入資金に対する融資：(18年度末までの累計) 7台

#### 公用車への率先導入

- ・一般公用車は、原則的にエコカーを導入：(18年度末の割合) 55.5%

#### 燃料電池車の公用車への導入

平成15年8月から全国の自治体で初めて燃料電池車を公用車に導入し、通常業務のほか、県内各地で開催されるイベント等に活用。



<全長 / 全幅 / 全高 (mm)>	4,735 / 1,815 / 1,680
<重量 (kg)>	1,880
<乗車定員 (人)>	5
<航続走行距離 (km)[10.15モード]>	330
<最高速度 (km/h)>	155
<最高出力 (kW(PS))>	90 (122)

#### グリーン配送の推進

- ・県機関への物品納入業者に対するグリーン配送（エコカーの使用）の実施  
(18年4月～) 本庁舎、西庁舎、自治センター、東大手庁舎、三の丸庁舎、県警本部  
(19年4月～) 県内全ての県機関

#### 自動車エコ事業所の認定

エコカー導入やグリーン配送など自動車環境戦略に掲げる施策に積極的に取り組む事業所を「自動車エコ事業所」として認定し、毎年開催する自動車環境戦略推進大会で認定証を交付。

(19年度までの認定数) 26社 49事業所

#### 「県民の生活環境の保全等に関する条例」に基づく措置

- ・低公害車の購入・使用への努力規定(15年10月1日～)
- ・使用自動車数が200台以上の事業者に対する低公害車の導入義務(19年4月1日～)
- ・自動車販売業者による環境情報の説明義務(15年10月1日～)

## 車種規制など自動車単体対策

自動車NOx・PM法に基づく車種規制の円滑な実施（14年10月1日～）

<規制対象>

対策地域内で登録される基準に適合しない新車及び猶予期間(車種により初度登録から8～12年)が経過した使用過程車

最新規制適合車への代替等に対する助成措置

- ・最新規制適合車への早期代替に対する補助：(16年度末までの累計) 1,529台
- ・ディーゼル微粒子除去装置に対する補助：(16年度末までの累計) 556台  
17年度以降廃止
- ・最新規制適合車への買換え資金に対する融資：(18年度末までの累計) 1,266台

ディーゼル黒煙、不正軽油使用等に対する路上取締り・街頭検査の実施

- ・中部運輸局等と連携して毎年実施：(18年)延べ6箇所 総検査台数 617台

## 交通流円滑化や交通量低減対策の

パーク・アンド・ライドの推進

- ・パーク・アンド・ライド社会実験の実施

実施場所：リニモ万博北ターミナル跡地

実施期間：18年1月4日～3月31日

募集台数：50台

18年10月1日からは、地域振興部交通対策課が主体となって本格運用。

- ・東海三県一市による啓発活動の共同実施

東海三県一市が共同して啓発資材を作成し、毎年12月(大気汚染防止推進月間、地球温暖化防止月間)を中心に啓発活動を実施。



カーシェアリング(会員制による車の共同利用)の推進

- ・カーシェアリング社会実験の実施

実施場所：金山駅及び豊橋市役所周辺に開設した各カーステーション

実施期間：18年10月1日～12月31日

募集人員：各地区50名





## 環境監視体制の充実と情報提供の

### 自動車排出ガス測定局の増設

自動車排出ガスによる大気汚染の影響を把握するため、主要幹線道路沿道に測定局を増設。

### ドライバーへの情報提供

局地的な大気汚染が見られる岡崎市内の国道1号及び名古屋南部の国道23号を対象として、NO<sub>2</sub>やSPMの環境基準値を超過するおそれがある場合には、ドライバーへ環境情報を提供するシステムを確立し、ドライバーへエコドライブ等の行動を促す方法を検討。

## エコドライブの普及など啓発活動

### 自動車運転免許取得・更新時におけるエコドライブ実施の周知

運転免許を取得又は更新する全ドライバーにエコドライブ啓発用しおりを配布し、エコドライブ実施を周知。

### エコドライブの実践

本県が平成14年に設立した「エコドライブメンバーズクラブ」や、日本自動車連盟が会員向けに主宰する「JAFエコドライブ宣言」などの活動を通じて、ドライバーに対するエコドライブの実践を促進。

### エコドライブ講習会（エコトレーニング）の開催

19年度において名古屋市など地元市とJAFとの共催で、県内5カ所の自動車学校の協力を得て、エコドライブの講義と燃費計を取り付けた試乗車による体験乗車を実施

### あいち新世紀自動車環境戦略推進大会の開催

県民や事業者などに自動車環境対策の推進を呼びかけるため、毎年「あいち地球温暖化防止戦略推進大会」と併せて開催。

<平成19年度の開催状況>

日時：19年12月13日(木)

場所：中電ホール

(名古屋市東区東新町1番地)

内容：(式典)自動車エコ事業所認定証授与など

(講演)(社)日本自動車連盟愛知支部 江崎俊哉氏

(財)日本気象協会・気象予報士 田代大輔氏

